



* CONTENTS *

- ◆ 丹波のにわ／地区カルテができた！…p2・p3
- ◆ 丹波青少年本部からのお知らせ／森あそびのススメ…p4
- ◆ 生活創造ニュース(たんば.COM)／くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波並木道中央公園／丹波年輪の里…p6
- ◆ ささやまの森公園／丹波の森情報…p7
- ◆ お知らせ／森のクイズ…p8

丹波のにわ



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

今年、あの巨大地震・津波による東日本大震災から丸1年、阪神・淡路大震災から17年目を迎えます。改めまして、被災者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。被災された方々には継続的に支援を進めると共に、災害の教訓を皆で共有して、物的・組織的な防災面での備えを一層進める必要があります。

振り返りますと、今生きている私たちが経験したことのない規模の地震、津波、台風、豪雨、洪水、地崩れなどの自然災害が、21世紀になってから日本の各地で多発しています。かつての高度経済成長期は、自然災害の面では、幸いなことに比較的平穏な時期であったといえるかもしれ

れません。この時期に、多くの人口が都市に集中し、その近郊には大規模な団地が造成され、都市域が飛躍的に拡大し、私たちの生活そのものが近代化されました。今では常識とされているマイホームに代表される核家族を中心とした生活様式が定着したのですが、これは、長い歴史上からみると、たかだか数十年の経験であるかもしれません。それ以前には大家族型の生活など、多様な家族形態があったと言われています。大家族での生活を経験された方も、丹波地域には多くおられることと思います。

50年ほど前になるでしょうか、幼いころの私の生活を考えますと、8人家族で、両親、祖父母、曾祖父が健在でした。家族一緒の山仕事、野ら仕事、お盆やお正月の楽しい思い出、集落の皆さんと楽しんでお祭りや運動会、そして日常の生活などでの付き合いの様子を鮮明に思い出せます。今は無くなりつつある家族や地域社会の古き良き思い出でしょう

うか。私たちの小・中・高の卒業式では「仰げば尊し」を斉唱しましたが、詞は「仰げば尊し我が師の恩 教えの庭にもはや幾年……」でした。長らく造園を学んできましたが、ここで「教えの庭」は漢字表現されていますが、造園学的には、人々が集う場として平仮名の「にわ」が相応しいとも考えられます。

私たちは、家族、地域社会、さらには学校、会社などを介した、人と人の繋がりを持っています。昨年を表す漢字は「絆」でしたが、特に災害時の家族や社会の繋がり的重要性を意味してのことでしょう。このように、絆で象徴される、人と人のより良い繋がりのある社会を、参画と協働で再構築することが重要であると思います。丹波の森構想が意図した内容に、このことも含まれていたのではないのでしょうか。多くの人が出合い、絆を結ぶことができる素晴らしい「丹波のにわ」「丹波のもり」を創造するために。

地区カルテが できました！

ふくろう爺さん、地区カルテができたって聞いたけど、何のことなの？

地域づくりは、地域の人たちが中心になって、行政（市・県）や兵庫丹波の森協会などと一緒に進めることが大切じゃと、前に話したのう。

覚えてるわ。

このように関係する人たちが協力して地域づくりを進めるためには、地域の情報をみんなが持つていたら、より効果的に進められる。

そうね。

篠山市・丹波市では、44の地区（校区）ごとにまちづくり協議会や自治協議会が中心になって地域づくりを進めておる。だから地区の現状や課題、取組みなどが分かる資料があれば便利じゃ。

それが地区カルテなの？

ピンポン！「地区カルテをつくりませんか？」と市や協議会に



地区カルテ

呼びかけたら「協力しましょう」となった。それで、昨年の春から秋にかけて、協議会や市の職員、県立大学の学生などの協力をいたしながら、文章・図・地図・写真を用いた44の地区カルテ（各A3×2枚）をまとめたんじゃ。

すばらしいわ。ところで、カルテをつくって分かったことは？

どこの地区も、自然が豊かなこと、長い歴史や伝統文化があること、人情味にあふれることを誇りに思っている。

私もよ。ところで課題はないの？

人口の減少と高齢化、地域での交流の減少、伝統行事の維持が難しい、働く場所が少ない、農業の後継者の減少、山や田の荒廃などは、おおかた共通する課題としてあげられておるぞ。

やっぱり、いろいろ大変なのね。

鉄道駅から遠い山間の地区では、通院や買い物や交通手段の確保、シカなどの被害対策、空き家の増加なども深刻じゃ。逆に、駅に近いところでは、新旧住民の一体感ある地域づくりが課題じゃ。

うわーっ、丹波地域はこれからどうなるのかしら・・・

たしかに課題はいっぱいじゃが、丹波地域は地域づくりの先進地と言われるように、見本になる取り組みも多いぞ。

へーっ、どんなの？

特産品の加工・販売や直売所の経営、田舎体験などを通じた都市農村の交流、学校や保育所等の跡地を用いた交流・地域づくりの拠点化などじゃ。

すばらしいわ、ほかには？

住民による高齢者等の送迎バスの運行、若者による地域活性化プロジェクトチーム、まちづくり協議会の法人組織化などもすばらしいのう。

がんばっているのね。ところで、カルテは、どんな風に使えるの。



まちづくりワークショップ

私たちの地区にはこんな歴史や魅力があったのだと再発見するきっかけになる。私たちの地区はこんな素晴らしいところですよ、他地域の人に紹介する時に用いる。こんなこともできるんだと、他の地区を参考にするなどじゃ。

いろいろ使えそうね。

カルテは、協力いただいたまちづくり協議会や自治協議会などに提供するとともに、情報提供を受けながら更新していくそうじゃ。

ふくろう爺さん、ありがとう。地域づくりや地区カルテのことがよく分かったわ。

元気でのが、またじゃ。

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、バスケットボールとキーづくりが好きな小学4年の女子。ふくろう爺さんと話すうちに、地域づくりにだんだん興味がわいてきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つづけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあたたく見守りながら、メールを送っている。

地域づくりは、地域の将来像の実現にむけ、地域の資源（人・モノ・カネ・情報など）をいかに活用し、持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所では、地域の方々と一緒にカルテをまとめました。ご協力ありがとうございました。支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけたりご相談に応じます。ご連絡はこちらへ

研究所

TEL&FAX/0795-73-0003

E-mail: morikenkyu@tanbatorii.or.jp

丹波青少年本部からのお知らせ

丹波出会いサポートセンターから

結婚をお考えの、独身男女のみなさまへ。

丹波の森公苑 1Fに、平成22年より「丹波出会いサポートセンター」を開設し、

- お見合い機会の提供
- イベント情報の提供
- ミニ交流会の開催

……など、みなさまの「出会い」を応援しています。現在、有料の登録会員「はばタン会員」を募集中！年会費は3,000円です。

「婚活」への最初の一歩を、いっしょに踏み出してみませんか？

まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

◆お問い合わせ：丹波出会いサポートセンター
電話0795-78-9130

たんば子ども塾

生徒は小学生・先生は高校生。

夏休みに、丹波地域（篠山市・丹波市）の小学生が、地域の県立7高校をまわって、それぞれの高校の特色を活かした講座で学びます。先生役は高校生！お兄さん・お姉さんとのふれあいが楽しみの一つ。毎年恒例、大人気の講座を、今年も夏休みに開講予定です。



◆お問い合わせ：丹波青少年本部事務局
電話0795-72-5168

森あそびの ススメ

一里山の女王・オオムラサキが
飛翔する人が集う里山づくり



オオムラサキは日本 朝鮮半島 中国に分布し1957年に日本の国蝶に指定されました。

棲息地は平地や山地の雑木林で、幼虫の食樹はエノキの葉で、成虫はクヌギなどの樹液です。

棲息環境の変化（人工林の増加など）によって丹波地域では近年ほとんど見られなくなりました。環境省および兵庫県の準絶滅危惧種（存続基盤が脆弱な種：希少種）にランクされています。

年一世代で、11月下旬から3月中下旬までの期間4令幼虫でエノキの根元にあるエノキの枯葉に付着して越冬しています。

丹波の森公苑では、健全な里山づくりの1事業として「つくろうオオムラサキが飛翔する里山空間」をモットーに、2008年から丹波産オオムラサキの増殖と放蝶を実施しています。篠山市と丹波市の小学校9校、1高校、1企業が飼育に取り組み、増殖と放蝶活動が広がっています。

2011年2月に兵庫丹波オオムラサキの会（会員101名）が発足し、同会では、会員はもとより篠山市・丹波市の小学校区を単位とした地域住民の方々の協力を得て具体的な計画を進めています。

- 1、調査活動：分布調査や棲息環境および生態調査
- 2、啓発活動：小学校の飼育体験および観察指導
小学校を最小単位とする地域住民活動の支援
放蝶会
- 3、広報活動：会誌の発行
研究機関及び他地域との情報受発信及び交流

少し堅苦しいことを書きましたが児童から高齢者までひとりでも多くの方が参加して楽しんでほしいと願っています。

30年後には兵庫丹波の里山空間にオオムラサキが飛翔していることを夢見て!!



地域の伝統と歴史を通じた地域の活性化

県民交流広場事業が本格実施され6年目を迎えました。
丹波管内では全ての小学校区で地域の課題をふまえて
特色を生かした取り組みが行われています。

活動事例紹介

丹波市和田地区【さんなん和田・漢方の里まつり】

古くは江戸天保年間から薬草の栽培地として知られる和田地区では、薬草を生かした「漢方の里」づくりの取り組みがすすめられています。

今年は、人と自然がふれあう漢方の里をテーマに「さんなん和田・漢方の里まつり」が薬草薬樹公園・リフレッシュ館前で開催されました。

岩尾城太鼓、保育園児・幼稚園児の演技、丹波竜大声コンテストや神戸市立兵庫商業高校の生徒による「龍獅団」など楽しいアトラクションで会場は賑わい、地区内、地域間の交流が深められました。

また、和田小学校では4年生になると薬草について学習していますが、4年生児童が作成した草木染めを販売するコーナーは大変好評で、買い求める人の長い列が印象的でした。

今後、更なる取り組みで伝統の継承と都市部との交流が図られることを期待します。

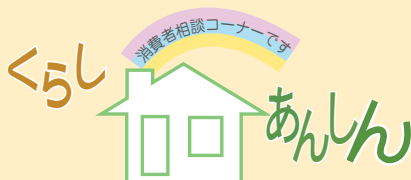


篠山市八上地区【親と子の考古学体験学習「卑弥呼の勾玉を作ろう」】

八上小学校区は、戦国時代の山城で国史跡となっている八上城の麓に広がる歴史深い地域です。5年前に女性を対象に開いたワークショップで「嫁いで10年になるが、八上のことはよくわからない」という声があったことから、住民に地元の歴史を学んでもらおうと「八上ふるさと塾」が開講されました。

今回、親子が共に体験する機会をつくりたいとの思いから、親と子の考古学体験学習「卑弥呼の勾玉を作ろう」を開催されました。

県立考古学博物館の考古学ボランティアの皆さんの指導のもと、親も子も真剣なまなざしで取り組まれていました。地域の歴史・伝統行事に関心や興味を抱くいい機会になったと思います。この親と子が共に学ぶ取り組みが継続することを期待します。



「いろいろな手口が使われる振り込み詐欺—おかしいと思ったら、振り込む前にまず相談—」

相談事例

「保証人不要、低利で資金を融資してくれるというチラシが届き、問い合わせてみると、審査が必要なので手数料を振り込むように言われた。信用できるか？」
「社会保険庁を名乗る人から、年金の払いすぎがあり、還付手続きを取るのに、銀行のATMで手続きをするようにとの電話があった。信用できるか？」

アドバイス

事例の一つ目は「融資保証金詐欺」、二つ目は「還付金等詐欺」と呼ばれる振り込み詐欺の手口です。振り込み詐欺には、これ以外にも家族になりすまして交通事故などの賠償金を振り込ませる「オレオレ詐欺」や電子メールなどで身に覚えのないサイトの利用料などを請求する「架空請求」があります。

これらの振り込み詐欺は、啓発活動や金融機関窓口での呼びかけなどにより被害件数が減少する傾向にありましたが、最近、新しい手口が使われたり、しばらく使われなかった手口が使われることにより被害が発生するケースが見られます。

新しい手口としては、警察官や金融機関の人間を名乗って電話をかけ、口座が

悪用されることを防止するためなどと称してキャッシュカードや通帳を預かろうとするようなケースが報告されており、兵庫県では「還付金等詐欺」が3年ぶりに発生したとの発表もあります。

さまざまな手口が使われる「振り込み詐欺」、騙されないためには“お金を振り込む前に、まわりの人に相談する”“間違いがないことが確認できてからお金を振り込むようにする”ことが重要です。

「おかしいと思ったら、振り込む前に、まず、相談！」警察や近くの消費生活センターに相談しましょう。

出前講座実施中

自治会や老人会などの集会に出向いて、担当職員が悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っています。費用はかかりませんので、ぜひ、ご相談ください。
丹波消費生活センター(丹波の森公園内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899



兵庫県立 丹波並木道中央公園



公園のイベント

- ノルディックウォーキング（毎月1回程度開催）
3月25日（日）*4月以降は未定
- 花と緑の教室
3月16日（金）「春の玄関を飾る寄せ植え」
*4月以降も実施予定
- 木工教室
大人の木工教室 毎月第1土曜日
子供クラフト 毎月第3土曜日
- プリザーブドアレンジメント
年に5回程度開催
- 赤米の田植え
5月下旬に開催予定



ノルディックウォーキング



プリザーブドアレンジメント
(見本)

その他イベント盛りだくさん!

詳細は公園のHPまたは、
広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



地図

自動車：舞鶴若狹自動車道「丹南篠山口I.C」
から約5分
電車：JR福知山線「丹波大山駅」
から徒歩10分

公園サポーター募集

公園づくりの仕事をお手伝いしていただく

「お助け隊」を募集します。

木工サポーター：ベンチや椅子などの木工品の作製
花壇サポーター：公園での花壇づくりのお手伝い

（詳細はお問い合わせください。）

兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地
TEL 079-594-0990 / FAX 079-594-0991
駐車場利用時間：8時～17時30分
入園料、駐車場とも無料
HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>
BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>
Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

木工クラフトの拠点 丹波年輪の里

座っ展2012 -丹波で生まれた木の椅子-

4月29日（日）～5月6日（日）



丹波で活動する木工家十数名が制作した木の椅子が年輪の里に集まります。見て、座って、木のぬくもりを実感してください。

大丹波 木づくり・手づくり市

5月3日（木）

大丹波地域のものづくり作家たちによる手づくり市。木工、陶器などなど。お気に入りの手づくりの一品を見つけに来てください。



※ゴールデンウィーク期間中は、他にも楽しいイベントを開催予定です。

もくもく 春の木木市 5月19日（土） 予定



丹波市内の製材所等からDIY向けの端材が大集合！掘り出し物があるかも?!

第25回

丹波の森 ウッドクラフト展

(木のおもちゃ大賞展) 作品募集

丹波の森ウッドクラフト展は
木工クラフトの全国公募展です。

木のぬくもりあふれる「おもちゃ」を募集します。
(ジュニアの部はおもちゃに限定しません)
一般の部：平成24年7月1日～8月14日消印有効
ジュニアの部：平成24年7月1日～9月14日消印有効
主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
http://nenrin.org/w_craft/

一般の部
グランプリ賞金
50万円!

お問い合わせ先

～12種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3
TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

開館時間 9:00～21:00（工作受付は16:00まで）
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円（材料費別途要）
団体貸切要予約

兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園

3月20日(火・祝)
13:30~15:00

河合雅雄先生講演会

演題：サル社会には「父親」はいない？
～家族について考える～



4月15日(日)
9:30~15:00

春の里山まつり

・開園10周年記念式典



定例プログラム



4月
・春の自然を楽しもう
・炭焼き体験
・ささやまの森公園杯争奪
～グラウンドゴルフ大会～
ほか



5月
・深山登山
・丸太のベンチ作り
・バードウォッチング
ほか



6月
・モリアオガエルと
ホタルの観察会
・草木染め教室
・料理教室 ほか

ささやまの森公園 〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1 TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
URL:http://www.sasayamanomori.jp/ E-mail:csr@sasayamanomori.jp

丹波の森情報

ホームページ等でもお知らせします。 <http://www.tanba-mori.or.jp/>

兵庫県地域高齢者大学 4年制大学講座 丹波OB大学入学生募集

- 対象 概ね60歳以上の篠山市・丹波市在住者
- 定員 60名
- 学習年限 4年間
- 受講料 12,500円(予定)
- 締切 3月31日(土)



- 内容 教養講座、専門講座(健康福祉・地域文化・生活創造コース)、芸術鑑賞会、学外研修旅行、大運動会、文化祭、クラブ活動等

兵庫県地域高齢者大学 地域活動実践講座 丹波OB大学大学院入学生募集

- 対象 丹波OB大学または篠山市・丹波市が設置する高齢者大学・学園等の修了者、若しくは地域活動に関心のある方
- 定員 30名
- 学習年限 2年間
- 受講料 12,500円(予定)
- 締切 3月31日(土)



- 内容 地域づくり活動、教養講座、実践講座、学外研修(平成23年度:「地産地消グルメで地域おこし」をテーマにB-1グランプリでカキオコを出品した岡山東日生町を訪問)、レクリエーション大会 等

兵庫県立大学 特別公開講座受講生募集

- 定員 40名
- 期間 6月30日~8月25日(全5回)
- 募集開始 5月上旬
- 受講料 5,800円
- 場所 丹波の森公園 セミナー室
- 内容 デフレ経済からの脱出、TPP参加における諸問題、少子・高齢社会の雇用と医療 等

京都フィルハーモニー 室内合奏団コンサート

「聴いて、見て、触って!京フィルとあそぼう 初めてのクラシックコンサート」

0歳児から入れるクラシックコンサート。うたのお姉さんが進行を務め、楽器紹介コーナーや楽器で遊ぶコーナーなど、小さなお子さんから大人まで家族と一緒に心から楽しんでいただけるコンサートです。



- 日時 平成24年3月18日(日) 13:30~14:30(開場13:00)
- 会場 丹波の森公園ホール
- 出演 京都フィルハーモニー室内合奏団
- プログラム ディズニーメドレー、アヴェ・マリア、となりのトトロメドレー、バイオリン体験コーナー ほか
- 入場料 一般1,000円
こども(12歳以下)500円

丹波の森公園展示ギャラリーご利用案内

展示ギャラリーは、絵画、写真、工芸などの作品展示や、活動発表の場としてご利用いただけます。

また、展示期間中に隣接する喫茶スペースを体験コーナー等としてご利用可能です。

- 利用期間 休園日を除く12日以内
- 利用時間 9時~17時
- 利用料 無料
- 広報 当公園ホームページへの掲載、新聞社への広報を行います。



好評
発売中

丹波 (篠山市・丹波市) のむかしばなし

「丹波のむかしばなし」第一集から第十集 各500円
(財)兵庫丹波の森協会または下記取扱所でお買い求めください。

篠山市内 小山書店、森本書房、黒豆の館、新たんば荘、王地山公園ささやま荘、篠山観光案内所、四季の森生涯学習センター（篠山市立中央公民館）・城東公民館

丹波市内 いちじま丹波太郎、道の駅「丹波おばあちゃんの里」、さんなん観光案内所、かいばら観光案内所、あおがき観光案内所

【お問い合わせ】 (財)兵庫丹波の森協会 (0795) 73-0933



県立丹波並木道中央公園 収穫祭

第22期

「丹波の森大学」のお知らせ

将来の丹波地域を創造するための講義や、先進地の視察を実施します。



- 定員 100名
 - 受講料 10,000円
 - 期間 平成24年6月～12月
- ※詳細については別途ご案内します。

「丹波の森市民研究員制度」について

地域のまちづくりを支援し、地域で受け継がれてきた知恵や技術の有効活用を図るため、専門知識や技術を持つ市民を「丹波の森市民研究員」として登録し、派遣する制度を実施しています。

自然観察、生き物調査、農業、コミュニティビジネス、花と緑の活動、昔話の語りべ、都市と農村との交流、炭焼きなど幅広い分野の指導者に登録をいただいています。

派遣先は、丹波地域の各種団体やまちづくり協議会など、依頼者の要望に添った指導者を紹介します。

【お問い合わせ】
(財)兵庫丹波の森協会 (0795-73-0933)

春の里山ハイキング 参加者募集



- 日時 平成24年4月29日 (日・祝) 10時集合
- 場所 丹波の森公苑 里山
- 定員 60名 ● 参加費 200円

【お問い合わせ】 森づくり課 (0795-72-5169)

丹波の森公苑をご利用ください。

丹波の森公苑では、ホールや会議室、グラウンドやテニスコートなどの施設をご利用いただけます。グループ活動や研修などにご利用ください。

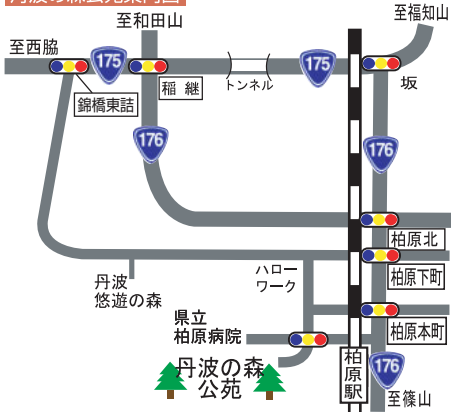


- 開苑時間 9時～22時 (グラウンド、テニスコートは17時まで)
- 休苑日 月曜日 (祝日の場合はその翌日)

使用料など詳しいお問い合わせは、丹波の森公苑総務課へ。ご利用をお待ちしています。

TEL (0795) 72-2127 (代)
ホームページアドレス <http://www.tanba-mori.or.jp>

丹波の森公苑案内図



(財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

〒669-3309
丹波市柏原町柏原5600
Tel.0795-72-2127
Fax.0795-72-0899
<http://www.tanba-mori.or.jp>
E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp
印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

昆虫の約半数は食餌として植物を利用しています。チョウ目では99%が幼生期に植物を食べ、植食性昆虫と言えます。その植物のことを寄主植物または食草(食樹)、食餌植物と言います。オオムラサキ幼虫の寄主植物＝食草(食樹)＝食餌植物を次の植物から選んでください。

- ①エゴノキ ②ムクノキ ③エノキ

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。(※切3月31日)